

第1 請求の趣旨

- 1 被告 は、原告に対し、 次 の 金 員 を 支 払 え。
金 円
上記金員に対する 年 月 日から
 訴状送達の日 の 翌 日 から
支払済みまで年 パーセントの割合による金員
- 2 訴訟費用は被告 の 負担とする。
との判決及び仮執行宣言を求める。

第2 紛争の要点 (請求の原因)

- 1 契約の日 年 月 日
契約の内容 ① 原告は、被告から次のとおり物件を賃借する。原告は、被告に対し、この賃貸借に際して敷金(保証金)を支払う旨約し、同日、敷金(保証金) 円を被告に交付した。
ア 物件(所在地)

(建物名・棟・号室)

イ 賃料(共益費を含む) 月額 円
ウ 期間 年 (以後自動更新) 定めなし
- ② 敷金(保証金)の返還時期
物件明渡し後 以内に支払う。
- 2 被告は、原告に対し、上記物件を明け渡した。
3 上記賃貸借契約の終了日 年 月 日
4 上記物件の明渡日 年 月 日
- 5 (1) 敷金(保証金)の額 円
(2) 原告が認める、敷金から控除すべき額 (内訳は別紙のとおり) 円
(3) 既に被告から支払を受けた額 円
(4) 残額 円{(1)-(2)-(3)}
(5) その他の請求額 円
(内訳)

請求額合計 円{(4)+(5)}

(別紙)

控除額内訳書

1 滞納家賃等円 (日分)

2 原状回復費用円
(費目の内訳)

.....
.....
.....
.....
.....

3 その他円
(具体的内容)

.....
.....
.....
.....
.....

合計額 _____円 (1 + 2 + 3)